

思春期の不定愁訴と血圧及び 動脈スティフネスの関連性

松本 希 (幼児教育学科), 吉岡 哲 (香川大学), 高原皓全 (川崎医療福祉大学)
野瀬由佳 (川崎医療福祉大学大学院), 高木祐介 (川崎医療福祉大学大学院)
荒金圭太 (川崎医療福祉大学大学院), 斎藤辰哉 (川崎医療福祉大学大学院)
山口英峰 (吉備国際大学), 家光素行 (立命館大学), 高橋康輝 (東京有明医療大学)
宮地元彦 (独立行政法人国立健康・栄養研究所), 小野寺昇 (川崎医療福祉大学)

Relationship between indefinite complaint and blood pressure or arterial stiffness in puberty

Nozomi MATSUMOTO (Department of Preschool Education),
Akira YOSHIOKA (Kagawa University),
Terumasa TAKAHARA (Kawasaki University of Medical Welfare),
Yuka NOSE (Graduate School, Kawasaki University of Medical Welfare),
Yusuke TAKAGI (Graduate School, Kawasaki University of Medical Welfare),
Keita ARAKANE (Graduate School, Kawasaki University of Medical Welfare),
Tatsuya SAITO (Graduate School, Kawasaki University of Medical Welfare),
Hidetaka YAMAGUCHI (Kibi International University),
Motoyuki IEMITSU (Ritsumeikan University),
Kouki TAKAHASHI (Tokyo Ariake University of Medical and Health Science),
Motohiko MIYACHI (National Institute of Health and Nutrition),
Sho ONODERA (Kawasaki University of Medical Welfare)

抄 録

成人のメンタルストレス負荷による過度の血圧上昇は、高血圧や心血管系イベントの発症と相関する。動脈スティフネス（動脈硬化度）の高値は、虚血性心疾患や脳血管疾患の独立した危険因子である。思春期には、著しい身体の成長及び生殖能力の完成に加え、心理・精神面においては心身の未発達による不安や葛藤を引き起こす。このような精神面の変化が二次的に身体症状として不定愁訴を訴えることが多い。そこで小・中学生を対象に不定愁訴の訴えが血圧及び動脈スティフネスと関連するものと仮説立て、血圧及び動脈スティフネスとの関連性を調べた。しかしながら、相関関係を認めなかった。思春期の子どもにおいて、十分な動脈コンプライアンス（柔らかさ）により不定愁訴の発現が循環器系にあたる影響を緩和させている可能性が示唆された。

キーワード：思春期，不定愁訴，血圧，動脈スティフネス